

芸術

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
芸術	書道Ⅲ	2	3年次・J1群	自由選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
書Ⅲ（光村図書）		大筆 小筆		2年次で書道Ⅱを履修していること。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けている。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し、個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにしている。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。

2 学習計画と観点別評価項目

	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1学期	漢字	漢字の書を探知しよう	4 5	・書道Ⅰ、Ⅱの学習を踏まえ、時代を超えて受け継がれてきた伝統を感じつつ、漢字の書の多様性を楽しむ。	1 2 3
学 習 の 年 間 計 画	1学期		・篆書	6	・古代特有の複雑な構造と律動的な描線を学び表現する。	1 2 3
			・隸書	7	・素朴で力強い書風の「古隸」と多彩な表現の「八分隸」を学ぶ。	1 2 3
					・いくつかの古典を比較し、書風の違いを見極めた上で臨書する。	1 2 3
	2学期	漢字	・行書	9	・書聖羲之の書道史における位置付けを知り、書風を感じ表現を試みる。	1 2 3
			・草書	10	・行書・草書の特徴とその多様な美を異なった書風を備えた書家の書から学び、理解と関心を深め表現する。	1 2 3
			・楷書	11	・三筆、三跡について学ぶ。	1 3
					・文字の造形や運筆リズム、書風に現れた個性を味わう。	1 2 3
		2	漢字の書の創作	12	・自らの制作意図に基づき詩文の選定をする。	1 2 3
					・紙面構成や余白についてよく観察し、バランスを考慮する。	1 2 3
					・相互鑑賞により、互いの良さを伝えあい、成就感を味わう。	1 2 3

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

	3 学 期	漢 仮 交 り 書	3 漢字仮名交じりの書の学習	1	・現代の新しい表現を鑑賞し作者の意図が個性的・創造的に作品に反映することを体感したうえで、自分自身を表現した作品にする。 ・相互鑑賞により、互いの良さを伝え合い、成就感を味わう。	1 2 3 1 3
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けているか。		○書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにしているか。		○主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしているか。
	手 段	・制作の様子 ・自己評価表 ・作品		・制作の様子 ・自己評価表 ・作品		・制作の様子 ・自己評価表 ・作品
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		単元末や学期末ごとに評価を総括し、年次末に、単元末と学期末の総括を行い評価する。			
学習上の留意点		・対象となる作品や古典に素直な気持ちで向かいましょう。 ・定期考査は行わないので、集中し授業に参加しましょう。 ・用具や用材、書道教室は、みんなで共用しています。一人一人がマナーを守って、気持ちよく使用できるよう心掛けましょう。 ・筆、半紙、墨などが必要なため、教材費として2500円程度を徴収します。				